

令和4年6月8日

「ゼロカーボンシティ習志野」を表明

【2050年 温室効果ガス排出実質ゼロを目指します】

6月7日の習志野市議会(一般質問)において、2050年ゼロカーボンシティへ挑戦することを表明しました。

【ゼロカーボンシティ習志野 表明の概要】

近年、気候変動が一因と考えられる異常気象が世界各地で発生し、我が国においても甚大な豪雨・台風災害や猛暑が頻発するようになり、地球温暖化によるリスクが高まっています。

本市は、今年度に「習志野市地球温暖化対策実行計画」の改定及び「習志野市SDGs戦略」を策定し、率先して温室効果ガス排出抑制への行動を起こし、市、市民、事業者が共に2050年温室効果ガス排出実質ゼロを目指してまいります。

【ゼロカーボンシティとは】

環境省により、「2050年にCO₂(二酸化炭素)を排出実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体」のことをゼロカーボンシティとしています。

「地球温暖化対策の推進に関する法律」では、都道府県及び市町村は、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の削減等のための総合的かつ計画的な施策を策定し、実施するように努めるものとされています。

こうした制度も踏まえ、昨今、脱炭素社会に向けて、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明した地方公共団体が増えつつあります。

※排出実質ゼロ:CO₂などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること

問合せ先
都市環境部 環境政策課
電話:047-453-9291



ゼロカーボンシティ習志野

近年、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの増加により、地球温暖化が進行しています。地球温暖化による気候変動が一因と考えられる異常気象が世界各地で発生し、我が国においても甚大な豪雨・台風災害や猛暑が頻発するようになり、地球温暖化によるリスクが高まっています。

地球温暖化対策として、温室効果ガスを削減することは、世界規模の課題であります。

国においては、令和2(2020)年10月に「2050年カーボンニュートラルと脱炭素社会の実現」が宣言され、脱炭素社会の実現に向けて大きく舵が切られました。

本市は、これまで本市ができる対策を進めるとともに、市、市民、事業者それぞれが行動に移すことを焦点に取り組みを進めてきました。

本市では、今年度に「習志野市地球温暖化対策実行計画」の改定及び「習志野市 SDGs戦略」を策定し、率先して温室効果ガス排出抑制への行動を起こし、市、市民、事業者が共に2050年温室効果ガス排出実質ゼロに挑戦することを表明します。

令和4年6月7日

習志野市長

宮本泰介